



三校ジョイントコンサート (2019/12/14)

毎年恒例の三校ジョイントコンサートが文化センターで行われました。クリスマスソングや映画音楽などバラエティーにとんだ選曲で、会場はとても盛り上がりました。最後には三校合同で喜びの歌を演奏、迫力の音色に年末の厳かな気持ちになりました。年々楽器に触れる子どもが増え、吹奏楽人気を感じるコンサートでした。

目次

- | | | | |
|---|---------------------|---|---------------------------------|
| 2 | アフィッシュフェスタ | 6 | ニューフェイス
教育委員会だより |
| 3 | 川上村の素顔 | 7 | 鰻の眼
動物パトシリレー |
| 4 | 図書館まつり | 8 | 受動喫煙
公民館の動き
戸籍の窓口
一喜一憂 |
| 5 | 室井摩耶子さん
ピアノコンサート | | |



12月1日文化センターでアフィッシュフェスタが行われました。集まったのは村内外の25ものお店。パンや焼き菓子などの飲食店、アクセサリーやハーブなどのハンドメイドのお店、雑貨やマッサージやワークショップなど多種多様で、さながら小さな市場のような雰囲気でした。

お菓子の福まきや紙芝居などもあり、子どもたちも大喜び。幅広い年齢のお客さんが楽しめる、賑やかなイベントとなりました。



バオバブ堂

オリジナルのデザインをプリントした手ぬぐいや服のお店。店名の通り、背の高い木が好きだという店主さん。川上村のヒメバラモミをモチーフにした作品を制作されたこともあり、先日のヒメバラモミ剪定日には実際に見学にいられました。

トートバックに好きな色をプリントするワークショップ。会場内にはお洒落なバックを提げたお子さんが多く見られました。

Calamelbanana

手作りクッキーの販売とシャカシャカクッキー作り。透明な飴細工のレンズがついた2枚のリング状のクッキーの間に、ビーズや星型のお菓子を挟みクリームでデコレーションするシャカシャカクッキーのワークショップ。アクセサリのような細かいお菓子と、カラフルなクリームが、まるでファンシーな小物を作っているよう。かわいいクッキー作りに子どもたちが夢中になっていました。



レタ助のポケット

子ども服のリサイクルのブース。着なくなった子ども服を必要としている人に利用してもらう、ニーズの橋渡しをしていました。メンバーは小さなお子さんを育てているお母さん方。自らの実体験と要望から活動が始まったそうです。

募集により集まった服はサイズごとに分類され、子育て世代の親御さん方が自由に選んでいました。人と人とをつなぐこの活動、ますます大きなリサイクルの輪が広がるといいですね。



素晴らしさがいっぱい それが川上村



川上村の素顔 第40回

アフィッシュフェスタ主催メンバー
小原 由紀さん
(居倉)

大学時代にアルバイトで訪れ、川上村のファンになったという小原さん。思い焦がれた20年後、縁あって大阪から嫁いでこられました。キッザニア、ユニバーサルスタジオジャパン、バスガイドなど様々な職業経験がアフィッシュフェスタに生かされたそうです。イベントに込めた熱い思いをお聞きました。

「アフィッシュフェスタを開催するきっかけは？」

「川上村にないお店を集めてイベントをやりたいと思って。近隣で魅力的なマルシェイベントが行われているのに、メインは夏で冬は行われていないので川上の人は参加しづらい。ならば川上村で開催すれば、遠出の困難な子育て世代や近隣のお店を知らない人でも気軽に楽しめるのではないかと考えました。またイベントでお店を知って、自ら訪れるきっかけになれば冬の楽しみが増えるかなと思い開催を決めました。」

「村にも図書館まつりのようなイベントがありますが、それとは違う方向性を考えたのですか？」

「図書館まつりはとてもいいと思います。ですがイベントの趣旨として子どもが対象なので、中学生くらいまでの若い世代に偏ってしまう。」

そこで、幅広い年齢層の若男女が参加できるイベントもあればいいなと思いました。村外のお店に声をかけたのはマルシェに触れた経験のない人を呼び込み、今までなかった新しい風を村に取り入れたかったんです。」

「昨年は雰囲気似たロカヒイベントがありました、その影響はありましたか？」

「ロカヒの成功は大きかったですね。あのイベントを見て、ずっとやりたかったことが具体的に固まりました。背中を押してくれたのもロカヒ実行委員の方たちでした。開催許可を得るには規制が厳しくて、一人では限界を感じていました。相談したところ賛同をいただき、ノウハウを生かして動いてくれたので無事許可を得ることができました。運営にも協力していただき、たくさん学ばせてもらえ、とても感謝しています。」

「出店数は？」

「全部で25店舗です。ほとんどが山梨のお店で、南相木と小海からも来てもらいました。川上からは個人とマルシェ、社協と協力したレタ助のポケットで6店舗でした。」

「まずそのお店が好きなこと、それ以上にそのお店の人が好きということ。一番の基準は川上村に興味を持ってくれた方です。私は川上村が大好きです。それは風とか空気とか水とか、とても些細なこと。でもここで生まれ育った人は、それが当たり前に思っている。むしろ『何もない』ってマイナスイメージに思っている。もし子どもたちが同じように思うたら、それはとても勿体ないこと。ここで育つ子どもたちには、その素晴らしさを誇りに感じてもらいたい。」

川上村に興味のある村外の人を訪れて、素晴らしさや面白さを感じてくれたら、それを見た子どもたちは当たり前前ではないと気づいてくれるでしょうか？その機会をたくさん作りたいんです。参加してくれたお店は、その思いに共感してくれた皆さんです。川上村のPRとして、村の食材を生かした料理を使ってお弁当を出店者さんにお配りしました。」

「開催までの流れを教えてください。」

「企画したのは1年前でした。ひと冬かけて動いて、具体的な内容が決まったのが6月でした。そこからお店との交渉が始まったのですが農作業が忙しくなり、相手は夏のイベントシーズンになり思うように話が進まず歯がゆい思いをしました。最終的な内容が決まったのは秋になってからで、チラシができたのは開催1か月前でした。チラシは南佐久と北杜市の新聞に入れてもらい、近隣店舗やイベントで手配りもしました。」

「開催してみたいか、ですか？」

「実際に会場を歩いてみて、お客さんが喜んでくれているのを実感しました。出店者さん同士がコミュニケーションをとっていたのも良かったです。ふれあいを大事に思っていたので、コンセプト通りで嬉しく思いました。楽しい1日を過ごしてもらえて、この冬のわくわくに繋がったかなと思います。村の方の出店も考えつつ、今後も開催したいですね。」

図書館まつい

デジタル全盛のいま
本のあたたかみ感じていますか？



恒例の図書館まつりが12月8日、文化センターで行われました。今回は生誕100周年を迎えたやなせたかし先生をフューチャーし、お話し会もクイズコーナーもおすすめ本もすべてやなせ先生。アンパンマンに代表されるとおり幅広い年齢層に寄り添う作品の数々に、会場全体がほっこりした雰囲気でした。

室内バードウォッチングではいたる所に貼られた鳥の絵を探しながら、ホールから図書館へと散策しました。鳥の説明ではスマートフォンを使って鳴き声を聞かせてもらえ、室内とは思えないほどのバーチャル感でした。

からまつ広場では中学校吹奏楽部のミニコンサートがあり、迫力の演奏に圧倒されました。去年の公演が好評だったまつもと演劇工場による語り劇が行われ、うぐいすホールでは多くの観客が楽しんでいました。また、クラフトかご作りや絵手紙コーナーもあり、子どもたちが挑戦していました。

全8店が集まったフリーマーケット。手作り雑貨やクリスマスにちなんだクッキーの他、とん汁やおにぎり、パンやスイーツなどが販売され1日中いられるイベントになっていました。

思考を凝らした図書館まつり、このイベントを通じて利用者が増え、多くの本に触れてほしいと思います。



興味深々に望遠鏡をのぞく子どもたち。自然に触れ合うきっかけになるといいですね。



テーブルに並ぶたくさんのパンやスイーツ。できたてを食べてほしいと、前日から仕込みを始め、ほとんど徹夜で作るそうです。おいしさに秘めた情熱です。

98歳ピアニスト 室井摩耶子さん トークコンサート

11月16日 文化センター

室井摩耶子さんプロフィール

1921年 (大正10年)東京生まれ。6歳からピアノを始める。
1941年 東京音楽学校(現東京芸術大学)を首席で卒業。
1946年 黒澤明監督からピアノ演奏シーンの代役要請。
1955年 映画にも出演。
1956年 ベルリン音楽大学留学。
1960年 ベルリンでデビュー、ドイツを拠点に13か国で演奏活動が続ける。
1964年『世界150人のピアニスト』に選ばれる。
1982年 帰国。
1995年「トークコンサート」は26回開催され、近年ではNHKや民放局テレビ番組、FM、インターネットや雑誌等メディアでも多く活躍。
2019年『平成30年度文化庁長官賞』受賞。

世界最高峰

1907年製 ニューヨーク・スタインウェイ

今から 26 年前、村長がこのピアノと出会い、村の精神文化を栄えられるようにと導入された。

クリスマスコンサートや子どもたちの発表会などでこのピアノが使われ、村の人たちに親しまれるようになりました。

また、村に合唱団ができ、後にウィーンで演奏できる機会まで得ることができました。



室井摩耶子のトークコンサート
ふれあいトークピアノは物語る

11月16日、文化センターにて開催されました。

第一部では、室井さんによるピアノ演奏と解説、第二部では、室井さんと藤原村長との対談。

演奏会といっても堅苦しいものではなく、ベートーベン「エリーゼのために」であったりと一度は耳にしたことのある楽曲を選曲されたりと、親しみやすいコンサートでした。

解説もわかりやすく、楽曲の一部分を譜面通りに弾き、次に同じ箇所を作曲家の思いや感情を楽譜から読み取りピアノを通して表現させて弾くと、絵本みたいに情景が見えるかのように音楽を感じ取れたり、比較し易い解説で楽しませてくれました。何より、室井さんが一番楽しそうで、会場全体を幸せにさせるオーラが溢れ出ていました。

間髪を入れずに演奏・解説(トーク)・演奏・解説……と笑顔も絶やさず元気よく次々に繰り広げてくださる姿は、98歳ということをすっかり忘れるくらい快活でした。

後の対談で話されてい

ましたが、ピアノが奏でる音、空間が素晴らしい感じで、弾けば弾くほど室井さんご自身がご機嫌になり、どんどん興奮しながら楽しまれたそうです。

このような何にでも好奇心旺盛で追求心やチャレンジ精神を常に持ち続けることが、長寿の秘訣かもしれないとお話されました。





川上村のニューフェイス

まぶしい笑顔に、かわいさ溢れるニューフェイス。
個性的なお名前に、お父さんお母さんの愛情も溢れています。



にっこり♡

よく笑って、よく泣いて、よく寝る子です！
穏やかで明るく優しい子に育ってほしいです。
毎日すくすく成長中♪



なざさ

井出 風咲ちゃん
6月18日生まれ

川端下

博基・季恵
(第一子)

お兄ちゃん大好き！

いつもニコニコしてみんなを癒してくれます。
元気で優しい子に育ってほしいです。



まな

堀込 茉那ちゃん
5月8日生まれ

梓山

和志・智美
(第二子)

NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE

寝るのが大好き

爽やかで素直な人になってほしいという願いを込めてつけました。
バタバタ暴れてニコニコ笑うとても元気な子です。



すずは

今井 涼葉ちゃん
8月21日生まれ

樋沢

晨吾・仁礼
(第一子)

いっぱい笑うよ！

毎日元気いっぱい遊んで、寝返りも上手にできるようになりました！
思いやりのある優しい子に成長してほしいです。



りつ

鷹野 律くん
7月9日生まれ

梓山

史弥・千尋
(第一子)

令和元年度 教育委員会学校関係入札事業

子どもたちがより良い環境で学習できるよう整備しています。

小学校、中学校電子黒板導入事業

ICT学習環境の整備のため各小学校に3台、中学校に2台の電子黒板を整備しました。



中学校保健室、PC室、第二小学校保健室エアコン設置工事、中学校ランチルーム空調機設置工事

温暖化の影響により中学校は保健室とPC室に、第二小学校は保健室にエアコンを設置しました。第一小学校の保健室は昨年度設置済みです。

また、西日が強く給食の衛生環境が懸念されていたため、中学校のランチルームに空調機を設置。



令和2年 新規奨学金奨学生募集

社会に貢献する人材を養成するため、経済的理由により修学困難な者に対して、奨学金を無利子で貸与しています。

令和2年4月から新規で奨学金の貸与を希望する方を募集します。

貸与額

大学等 月額 40,000円 高等学校等 月額 30,000円

貸与期間

学校の
正規の修学期間

返済方法

卒業後1年経過してからの貸与期間の2倍の期間で返済

なお、貸与には条件がありますので、詳しくは教育委員会までお問い合わせください。

☎ 97-2600

教育委員会
だより

夏は「農家」 冬の肩書は？

「絵描き」のK

農閑期が始まるこの頃、皆さんは何を楽しみにしていますか？ 夏に酷使した体をいたわるため、自由気ままに過ごす優雅な生活。毎年勤めているアルバイト先の仲間たちと過ごすこと。趣味の世界にどっぷりと没頭する贅沢な時間。過ごし方は人それぞれ。それは過酷な農作業を務めあげたのちに訪れる、束の間の自由。

川上村の人は趣味の幅が広く、生涯学習教室をとつても様々な趣味を冬の楽しみにしている方が多いのがわかる。公民館まつりで披露される作品や発表の素晴らしさには、毎年驚かされるものだ。スポーツ界でも資格を持つている方、指導者として活躍される方、同好会で楽しんでいる方などいろいろいる。何かと盛んになっているSNS。多くの人と繋が

るのに重要なのは「自分は何者であるか」を示すこと。その影響が実生活でも、積極的に趣味や特技を明確にする流れがある。いわば「本業以外の肩書」。自分の趣味をもう一つの肩書として示したら、モチベーションの向上とともに人との繋がりが生まれるのではないだろうか。

もし同じ趣味の仲間に出会えたのなら活動の幅が広がり、個人ではたどり着けない次のステップに進めそうな気がする。楽器の演奏はバンドになり、作品がたくさん集まれば個展になり、スイーツや伝統的なおやつが集まればマーケットになる。公民館まつりや図書館まつりの他、近年文化センターで開催されているイベントはその具体的なものであり、絶好の表現の場だ。

また、教育現場で必要とされているコミュニティスクールの二環で、地元住民が特技を生かした講師として子どもたちに指導できれば、より豊かな教育につながるのではないだろうか。授業のサポート、クラブ活動、放課後の時間の利用など可能性は広がる。

「人は宝」。村の中には潜在的に、素晴らしい趣味や技術を持った方が多くおられる。多くの人が個人の趣味として活動している現状。そのサイレントマジョリティーを発掘できたら……。同じ趣味を持った人が集まるコミュニティを形成できたら……。川上村も、教育現場も、個人の生活もとても豊かなものになりそうだ。

胸に込めた熱い情熱を開放して、たくさんの人と繋がる環境をみんなで作ってみませんか？

動物バトンリレー

川上第一小学校5年生

(年齢不詳) ①ケビン ②しずく ③シナモン

(8か月) ④もみじ ⑤うめ ⑥さくら ⑦チェリー
⑧ジョージ ⑨カラアゲ

種類：アイガモ

今年、川上第一小学校の5年生はアイガモ農法で米作りをすることに決め、野辺山の小幡大策さんからケビン・しずく・シナモンの3匹を借りました。また、卵もいただき、孵化したのが6匹です。

夏場、6匹を田んぼに放田し、雑草をたくさん取ってくれたおかげでたくさんのお米ができました。今は9匹で仲良く暮らしています。子どもたちがエサやりや掃除などの世話をしています。

おしりの羽を振って歩くところ、「ガア! ガア!」とエサをねだるところ、すやすや寝ていることが魅力的です。



マナーからルール(法律)へ

—喫煙される方はまわりの人の健康を思いやる気持ちをもって—

村では昨年4月に各公民館に屋内禁煙のお願いと、受動喫煙を防止するために喫煙場所は人が通らないところへ設置していただきをお願いをしたところ、すぐに喫煙場所を配慮していただくことができました。受動喫煙防止へのご協力ありがとうございました。

しかし、まだ法律が施行されてから間もないせいか、吸ってはいけない場所で吸っている方もおり、正しい場所での喫煙をお話してもかえって心無い言葉をかけられることもあります。ぜひ、喫煙される方は周りの健康を思いやる気持ちをもち、法律を守りましょう。

Q なぜ「受動喫煙」を防がなければいけないの？

A 喫煙が脳卒中やがん、心筋梗塞を引き起こすことは広く知られるようになりましたが、たばこを吸わない人の受動喫煙にもリスクがあることをご存知でしょうか。ほんのわずかな受動喫煙であっても、心臓発作のリスクが急激に増加することが明らかになり、また受動喫煙による死者が年間1万5千人にのぼることが分かっています。

(厚生労働省 喫煙の健康影響に関する検討会編「喫煙と健康」より)



改正スケジュールとすでに始まっているもの

2019年

1/24

国民1人1人に対して、喫煙する際には周囲の状況へ配慮するよう義務付けられました。

たばこの煙は風下であると17メートル先に届きます。喫煙した後は30分間は呼気中に有害物質が出ています。

病院、学校、児童福祉施設等、行政機関は原則敷地内禁煙になりました。

川上村役場、川上村文化センター、各小中学校、かわかみ保育園、児童クラブ、ヘルシーパーク(保健福祉課、デイサービス、こどもりなど)が該当します。

7/1

敷地内禁煙の駐車場に停めた車内でも喫煙はできません。

施設により、喫煙場所が定められている場合は標識に従ってください。

2020年

4/1

上記以外の施設や飲食店においても施設の累型、場所ごとに必要な措置が講じられ、2020年4月1日～実施されます。

※この記事に関してご不明な点は保健福祉課保健師までお問い合わせください(☎97-3600) 保健福祉課

公民館の動き

11月3日 分館対抗ソフトボール・ソフトバレーボール大会

11月6日 年間券利用者マレットゴルフ大会

11月21日 公民館杯ゲートボール大会

11月23日 子ども公民館教室

11月26日 家庭教育学級運営委員会

11月26日 館報編集委員会

戸籍の窓口

十一月一日～十一月三十日受付

お誕生おめでとうございます

渡辺 悠斗

はると 雄也

由井 澄空

そら 潤

ご結婚おめでとうございます
末永くお幸せに

由井 靖彦
板橋 怜奈

御所平 神奈川県

お悔やみ申し上げます

今井よ志子 樋沢 九一歳

由井 嘉 御所平九三歳

※この欄は川上村に住民登録されている方を掲載しています。

一喜一憂

今シーズンもゴルフ賞金女王争いが熾烈を極めている。

農閑期に入り、私もゴルフに熱を入れ始め1か月。未だにベストスコアは111打と伸び悩んでいる。週に3日練習場で200球を打ち込み、体にフォームを染み込ませているが、いざ実戦で打ってみると練習場のようにはいかず、ロングホールでは10打を叩くことも。実戦でしか経験できないラフ、傾斜からのアプローチ、時には風に流されてOBに入る。また、次の1打を打つまでに考えるべきことも実に多い。カップまでの距離、風向き、スタンスの傾斜、番手、グリーンのどこに落とすべきかを短時間で考えなければならぬ。1打を削るために絶え間ない努力を続けているプロ選手は称賛に値する物だとゴルフツアーをテレビで見ながら常々思うところである。プロ選手のようにはいかないが私も今シーズン中に100打を切っておきたい。

編集委員 T

【村 勢】

総面積 209.61km²

総人口 3,766人

男 1,919人

女 1,847人

世帯数 1,210戸

(11月30日現在)